



ICTを効果的に活用し、児童生徒の資質・能力の育成を図る

とっとり県版SAMRモデル

SAMR(セイマー)モデル(Ruben R. Puentedura2010)とは、ICTが授業にどのような影響を与えるかを示す尺度となるものです。
鳥取県では児童生徒の資質・能力の育成を図るため、SAMRモデルを以下のように捉え、引き続き、授業におけるICTの効果的な活用をめざします。



アナログでできたことをデジタルで代用

●紙でもできることをデジタル化する

- (例) 教師が...
- ・デジタル教科書で本文を提示する
 - ・端末を使って作文する
 - ・ドキュメントで作業を書かせる
 - ・PDFで課題を配布、回収する
 - ・大型提示装置を板書代わりに使う
 - ・カメラの代わりに、端末で写真を撮影させる
- ※これらを子どもが自ら選択する場合は、「M」段階にある

デジタルの特性を生かして、学習効果向上

●デジタルの利用により付加価値が加わる

- (例) 教師が...
- ・全員の考えを共有して、思考させる
 - ・ファイルを共有して共同編集させる
 - ・コピーや校正の機能を使って文章を推敲させたり、試行錯誤させたりする
 - ・コメント機能で相互評価させる
 - ・データの即時集計や可視化をする
 - ・デジタル教科書を使い、英語の音声流す
 - ・児童生徒の学力に合った問題を出題するコンテンツを活用させる

授業デザインが変容し、新たな学びの実践へ

●個別最適な学びや協働的な学びの実現に近づく

- (例) 子どもが...
- ・「A」段階までの取組を自ら選択して学習に活用する
 - ・スタディ・ログを積み重ね、レコメンド機能等も活用しながら、学習調整を行う
 - ・校外とオンラインでつながり、共同でPBL(プロジェクト型学習)に取り組む
 - ・自分の苦手分野、必要な教材を自覚し、自分で予定を立てて学ぶ

実社会の課題解決や新たな価値の創造

●実社会の課題解決や新たな価値を創造する

- (例) 子どもが...
- ・学習成果をSNSやHPをととして社会にリリースする
 - ・最新テクノロジーを積極的に活用する
 - ・ICTによるタスク管理や相互コメント等によってプロジェクトを進行・完結する
 - ・空間的、時間的にとらわれず学習する
- ※新たな可能性が開かれる段階のため、「M」以上の取組「R」と捉える

ICT活用を進める上で、このようなお悩みはありませんか？
そんな時には...

教職員向けの研修をしたいのだけど準備が...

今の使い方は効果的なのかな？

校務での活用方法を知りたいのだけど...

Mの段階に進むためにどうすればいいのかな？

教育DX推進員を御活用ください。



例えば、こんなことができます! (昨年度の実績より)

教育DX推進員の石原です。活用を希望される際には、西部教育局へ御連絡ください。日時や内容について調整しながら対応します。

また、今年度も巡回相談に行かせていただきますので、ICT活用についてのお悩み等お聞かせください。よろしくお願いたします。



子どもたちのキーボード入力するときの指使いが気になるけど、どう指導したらいいのかな？

小学校でキーボード入力の授業支援を行いました。教材もありますので、お気軽にお声掛けください。



学校評価アンケートをデジタル化したいな。どう作ったらいいのかわからない。

Formsでアンケートを作ると便利です。見本があるので、それをもとに一緒に作ってませんか？



T2として授業支援



教職員研修の講師として